

# きらめき NEWS

VOL. 15 (2026. 3)



荒添 美穂さん  
有限会社インテリジェントパーク  
会長

活動の中核を担うリーダーとして必要なスキルを身に付け、団体内部の人材育成、活動の活発化に繋がるセミナーを特定非営利活動法人やまぐち県民ネットワーク（山口市）に委託して開催しました。セミナーは3回シリーズで、第1回目は「チームづくり」について呉哲煥（ごつあき）さん、第2回目は「コミュニケーション」について温品富美子さんに講演していただきました。そして、第3回目は「AIで広がる活動の力」をテーマに、NPOや地域活動、組織運営で使えるAIの活用方法などについて、有限会社インテリジェントパークの荒添美穂会長にお話しいただきました。

## 活動団体人材育成支援事業 NPOの活動や組織運営につかえる AI活用

した。参加者の関心が高く、大変時宜を得た内容でしたので、今回はその講演についてご紹介いたします。

### 〇AIのメリット

「情報発信が続かない」、「報告書などを書くのがつらい」など、団体が抱える悩みや課題を、AI（Chat GPT、Gemini、Claudeなど）という新しい道具を使うことで解決の糸口が見つかります。AIを単なる道具ではなく、「優秀なアシスタント」として日々の業務に取り入れることで、作業効率の向上や担当者任せの解消に繋がります。

AIは、クレーム対応やイベントの活動分析・評価が非常に得意です。また、会議の効率化や、失礼のないメールの返信案の作成にも役立ちます。

さらに特定の業務やデータ処理において高い能力を発揮しますので、日々の煩雑な業務を効率化にするツールとして使用してほしいです。

### 〇広報活動でのAI活用

AIは、企画のネーミングやキャッチコピーのアイデアを出してくれるなど、広報活動での活用が広がっています。

例えば、一つの原稿からSNS、メルマガ、チラシなど、多様な媒体に合わせた形に書き分けて作成してくれます。それぞれの媒体仕様にでき上がった原稿は、必ず人の目でチェックしてから公開してください。

### 〇事務作業を「ゼロ」から「たたき台」へ

報告書やマニュアルなどを作成するときに、「何から書こう、どう書こう」と悩む人は多いと思います。このような書類作成時には、AIを「たたき台」として使用してみてください。様々な情報をAIに入れることで、それぞれの書類に合う形式の文章が作成できます。ゼロから文章を書くよりも、AIが作成したものを修正する方が圧倒的に楽で、時間の短縮になります。

他には、会議の録音データから議事録を作成することも可能です。また、過去のメールのやり取りから、よくある質問集（FAQ）を自動生成したりなど、事務作業をゼロから始める必要はありません。

## 令和8年度 助成金申請団体を募集中

当財団では、県民活動団体等の活動を支援するため、4つの助成金の申請を受け付けています。募集案内や申請様式は、ホームページからダウンロードできます。

### ■きらめき活動助成金 ※応募締切：令和8年3月31日（火）

地域での県民活動の一層の活発化に向けて、課題解決や自立を図る団体の活動を支援

区分	自立支援「ゆめ」プログラム	課題解決支援「はな」プログラム
目的	団体の立ち上げ・自立	地域や社会の公益的な課題の解決
対象団体	設立から3年以内	過去5年間で当助成金が2回以内
助成額	20万円以内/件	50万円以内/件
助成率	対象経費の2/3	

### ■若者チャレンジ応援助成金 ※応募締切：令和8年5月31日（日）

若者が中心となって取り組む県民活動を支援

対象団体	若者（18歳～30歳）が過半数を占め、中心となって活動を行っている団体
助成額	20万円以内/件
助成率	対象経費の10/10

### ■繋がるネットワークづくり推進協働企画事業 ※応募締切：令和8年3月31日（火）

活動団体が企業や他団体等と協働して取り組む企画を支援

対象企画	団体が他団体や企業等と分野を越えてネットワークを形成し、新たに協働して取り組む企画
助成額	20万円以内/件
助成率	対象経費の10/10

### ■男女共同参画ブラッシュアップ事業 ※応募締切：令和8年3月31日（火）

男女共同参画推進のための人材育成や普及啓発の取組を支援

	《人材育成等事業》	《普及啓発事業》
対象事業	男女共同参画を推進するためのリーダー等の人材育成、団体の発展強化を図る取組（セミナーやワークショップ、専門研修への派遣、先進団体等との交流・勉強会等）	「ジェンダー平等」や「ダイバーシティ」、「女性の活躍」、「LGBT等」などの普及啓発を図る取組（講演やパネルディスカッション、調査研究、啓発キャンペーン等）
助成額	50万円以内/件	
助成率	対象経費の4/5	

## 財団イベントスケジュール

開催日	イベント名	主催者	会場
3/15⑩	きららでキラリ！県民つながるカンファレンス	やまぐち県民活動促進実行委員会	パルトピア山口
3/15⑩	県民活動フェスタ周南	やまぐち県民活動促進実行委員会	徳山駅北口駅前広場周辺
3/21⑤	県民活動フェスタ長門	やまぐち県民活動促進実行委員会	長門市市民活動支援センター

### （秋吉台国際芸術村）

開催日	イベント名	料金	時間
3/23⑨～26④	第14回秋吉台音楽コンクール サクソフォーン部門	無料	9:00～ ※詳細はHP でご確認ください
4/23④～25⑤	第15回秋吉台音楽コンクール 室内楽部門	無料	10:00～
4/26⑩	秋吉台の響きコンサート2026	調整中	15:00～
6/14⑩	秋吉台映画村 Vol.18 「白鍵と黒鍵の間に」	一般 500円	13:40～

発行

“男女が共同して参画し、文化が薫り、県民活動が広がる”  
公益財団法人 **山口きらめき財団**

〒753-0021  
山口市桜島三丁目2番1号 山口県宮野庁舎2階  
TEL 083-929-3600 FAX 083-924-9096  
メール info@y-kirameki.or.jp



### 秋吉台芸術祭 組曲「山頭火」



秋吉台国際芸術村では、1/25に「秋吉台芸術祭」として組曲「山頭火」のコンサートを実施し、多くの皆さまに御鑑賞をいただきました。

同芸術祭は、県民参加型事業として、県内活動団体やアーティストを起用して実施しています。まず、同組曲自体が、山口県出身の俳人「種田山頭火」をモチーフとしたもので、山口県文化功労者の「田中照通」氏による作品です。本県出身・在住の若手演奏家や俳優、県内合唱団、秋吉台音楽コンクール県知事賞受賞者などに集まっていただき、何度もリハーサルを重ねました。さらに、山口市の美術家「保手濱拓」氏に「山頭火の心」に迫る絵画作品を多数制作してもらい、視覚的な効果も加えています。

当日は、芸術村音楽ホールの形状を生かした舞台を作り、演奏、合唱、朗読、絵画の投影による複合的な演出により、7つの句に表現される「苦悩と寂しさ、そして、その先に見える自由」という山頭火の心象風景を表現することを目指しました。楽曲の改編から始まり、一から作り上げる企画であり、今回が初のお披露目となりましたが、来場者のアンケートでは高い評価をいただくことができました。

なお、第1部では、落語家「桂竹千代」氏による山頭火を題材とした創作落語「自由サラリーマン」の公演を行うとともに、同舞台上にて「保手濱拓」氏に描いていただいた作品の中から一部抜粋した原画展示会を2/8まで開催し、多くの方に御鑑賞いただきました。



### セミナー・イベント レポート

#### ■みんなでとも家事大作戦！

みんなで家事を考え、シェアする「とも家事」をテーマにした男女共同参画推進イベントを岩国市(11/22)で開催しました。

時短家事コーディネーター認定講師の柴田さちこさんの講演では、家庭内でのコミュニケーションのとり方や家事の分担方法、家事を効率よくこなすためのグッズや食材の紹介などもあり、参加者に参考となる内容でした。

講演後は、柴田さんと岩国市内で活躍する3人のパネラーによるトークセッションを行い、「感謝を伝える」、「ある程度、諦めることも必要」などの発言があり、それぞれの家庭の事情に対して、どのように考え立ち向かっているのか、「とも家事」について考えることができました。



#### ■つながる団体交流会

活動分野を越えて団体等が交流・情報交換する交流会を船崎美智子さんをファシリテーターとして、周南市(11/15)、萩市(1/17)、下関市(1/24)で開催しました。

まず、各地域でお手本となる活動をしている2団体に、設立のきっかけや活動内容等について事例発表をしていただきました。その後、発表を聞いて感じたこと等話し合い、資金面の不安、仲間集め、地域との関わり方、後継者や人材育成など、自分たちが直面する話題にも及び、大変盛り上がっていました。

3会場とも、活動に対する熱い思いや目標等を持っている方が多く、交流や情報交換が積極的に行われ、今後の団体同士の連携や協働に期待ができる交流会となりました。



また、アンケートの分析・集計は、人間が手作業で行うよりも効率的で正確です。アンケートは、手書きのものをスキャンしてAIに読み込ませることができ、Googleフォームなどを活用すれば、即座に集計が可能です。自由記述の回答から「なにが課題か」などを分析し、具体的なアクション案まで導き出すことができます。そして、分析だけでなく、アンケート内容を作成する際にもAIを活用できます。

#### ○AIを賢く使う3つのポイント

AIは、万能ではないため、AIを先生として活用するのではなく、自分がAIの先生になりAIに問題を出すという姿勢が重要です。質問の仕方や立場の設定によって、回答の質は大きく変わります。AIと上手に付き合うには、大きく3つのポイントがあります。

一つ目は、AIに役割を与えることです。例えば、「あなたはNPOの広報担当です」など、立場を明確にし、具体的な条件を指示することで回答の精度が上がります。

二つ目は、AIに丸投げにしたり任せきりにしないことです。AIは「もつと

もらしい嘘」をつくことがあります。必ず最後は人の目でチェックすることが不可欠です。

三つ目は、AIを使用するときには情報を守るためにセキュリティ対策が必要です。個人情報や機密情報を取り扱う際は、情報漏洩のリスクを理解し、履歴を残さない設定にするなど、ルールを決めて運用することが大切です。

#### ○まずは「遊び」から始めてみよう

AIは、人を減らす道具ではなく、浮いた時間で新しいアイデアを生むためのものです。

まずは個人のスケジュール管理や、ちよつとした文章の校正など、身近なところから「遊び」で始め、AIを「育てる」感覚で活用してみてください。

#### 事務作業から解放された時間を本来注力すべき活動に充てることで、組織運営は大きく前進すると思いますので、AIを上手に活用してみてください。



### 県民活動推進委員リレーコラム Vol.12

「ここにいい」をつくる～支援を越えて、共に生きる～

松本 奈津美さん  
(NPO法人NO BORDER : 光市)

私たちNPO法人NO BORDERは、「誰もが役割を持ち、否定されない社会をつくる」ことを理念に活動しています。

子育て家庭への食支援や規格外野菜の活用から始まった「想いEat事業」は、“支援する・される”を越え、人と人がつながる場を育てています。

「想いArt事業」では、“障がい者なのにすごい”ではなく、才能と才能が出会うことで生まれる新しい芸術と仕事の可能性を追求しています。

また、手話ダンスや障がい者ダンスを通じて、知ること・伝えることを大切に表現



活動を展開しています。さらに、ゲームを活用して社会参加や自立を目指す就労継続支援B型事業「想いMovement」では、一人ひとりの特性を強みに変える仕組みづくりに取り組んでいます。

そして新たに、学び事業「想いGrow」を始動しました。地域部活動とも連動しながら、子どもたちが挑戦できる環境を広げています。食・芸術・表現・就労・学びをつなぎながら“できる”を増やし、支援ではなく、共に生きる仕組みをつくり続けます。

